

参考資料

- | | | | |
|---|-----------------------|-----|------|
| 1 | 県短の理念・目的・教育目標 | ・・・ | ①-1 |
| 2 | 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） | ・・・ | ②-1 |
| | 教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー） | ・・・ | ②-5 |
| | 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー） | ・・・ | ②-11 |

鹿児島県立短期大学の理念・目的・教育目標

本学は以下の鹿児島県条例によりその設置が定められている。

鹿児島県立短期大学の設置及び管理に関する条例

(昭和 39 年 3 月 30 日 条例第 36 号)

(設置)

第 1 条 学校教育法第 108 条の趣旨にのっとり、深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな教養と職業又は實際生活に必要な能力を有する人材を育成し、もって地域社会の発展に寄与するため、鹿児島県立短期大学（以下「県立短期大学」という。）を設置する。

また、学則もこの設置目的を受けて整備されているが、それによれば本学と学科専攻の教育研究上の目的が以下のように定められている。

鹿児島県立短期大学学則

(平成 6 年 10 月 14 日 規則第 66 号)

総則

(目的)

鹿児島県立短期大学は、深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな教養と職業又は實際生活に必要な能力を有する人材を育成し、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。

.....

(教育研究上の目的)

第 3 条の 2 本学では、教養教育と専門教育の有機的連携を図り、社会情勢の変化に的確に対応するために必要な課題探求・解決能力を育成すること及び社会の形成に主体的に参画するために必要な豊かな人間性を涵養することを基本に、教育研究を行う。

2 本学の学科及び専攻課程の教育研究上の目的を、前項の基本方針に従い次の表のとおり定める。

課程	学科及び専攻課程	目的・教育目標
第一部 (昼間 課程)	文学科	文学, 言語及び文化を学ぶことを通して, 豊かな文学的感性, 柔軟な思考力, 的確な表現力を有し, 多様化した社会で活躍できる人材を育成すること。
	日本語 日本文学専攻	日本語及び日本文学の理論を学び作品を読むことを通して, 日本語に関する知識と表現力, 日本文学を広くかつ深く解釈し鑑賞する能力を有し, 多様化した地域社会で活躍できる人材を育成すること。
	英語英文学専攻	英米文学, 英語学及び英語圏文化を学ぶことを通して, 英語運用能力と豊かな教養を有し, 多様化した国際社会に対応できる人材を育成すること。
	生活科学科	衣・食・住を中心とする生活全般を対象とした実践的な専門知識と技能の習得を通して, 柔軟な思考力及び判断力を有し, 地域社会に貢献できる人材を育成すること。
	食物栄養専攻	食物及び食生活についての幅広い科学的知識と専門的知識の習得を通して, 健康の維持増進のための実践的能力を有し, 地域社会に貢献できる人材を育成すること。
	生活科学専攻	衣及び住を中心とした生活全般に関わる専門知識の習得を通して, 生活に関わる事象を科学的に分析・理解する能力及び質の高い生活環境をデザインする能力を有し, 地域社会に貢献できる人材を育成すること。
	商経学科	広く世界, 日本, 地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し, 情報処理の技法習得を通して, 柔軟な思考力と企画力を有し, 地域に貢献できる人材を育成すること。
	経済専攻	経済・社会の理論を学び, 地域社会及び産業の分析を通して, 地域の課題を発見する能力, 課題解決の意欲と能力を有し, 地域経済の発展に寄与できる人材を育成すること。
	経営情報専攻	経営及び組織の理論を学び, 会計・情報処理の技能習得を通して, ビジネスを企画・管理する意欲と能力を有し, 地域産業の発展に寄与できる人材を育成すること。
	第二部 (夜間 課程)	商経学科

他方「鹿児島県立短期大学の基本方針」においても全学的な理念・目的を定めている。その全文は以下のとおりであるが、1) 課題探求・問題解決のできる学生の育成、2) 学術研究と実践的教育に取り組む教員、3) 適切な学生支援、4) 教育研究環境の改善、5) 地域振興・活性化への貢献、6) 学長のリーダーシップによる合意形成、ならびに7) 自己点検・評価の実施と質保証を本学の目指すべき方針と定めた(平成27年12月教授会承認事項)。なお、この基本方針は本学のホームページでも学内外に公開されている。

鹿児島県立短期大学の基本方針

- 1 本学は、教養教育と専門教育との有機的な連携をはかり、社会情勢の変化に的確に対応できる課題探求・解決能力の育成と、社会の形成に主体的に参画するために必要な優れた人間性の涵養をとおして、豊かな教養を有し職業または实际生活に必要な能力を備えた社会人を継続的に送り出し、もって地域の発展に寄与することに努める。
- 2 本学に所属する教員は、たえず高い学術研究能力とすぐれた実践的教育能力の形成に尽力し、大学全体としては、個々の教員の諸能力が十分に発揮できるような学科・専攻の教員組織を編制するとともに、必要に応じてその適切な改編に努める。
- 3 本学は、学生が意欲的に学習に専念でき、満足度の高い学生生活を送ることができるよう、講義・演習・実習等に関わる修学、心身の健康、課外活動、就職活動等にわたって、必要かつ適切な学生支援をおこなう。
- 4 本学は、学生や教職員が安全で快適な学生生活および職業生活を享受することができるよう、学内の施設・設備の充実・更新をはかり、継続的に教育研究等環境を整備し改善することに努める。
- 5 本学は、県内唯一の公立短期大学として、県民の文化的かつ知的な生涯学習の一拠点を担い、地域や産業界との連携・協力を重視かつ拡充し、たえず地域の振興・活性化に貢献するよう努める。
- 6 本学は、大学の理念・目的および教育目標を達成するため、学長のリーダーシップのもとに、学内教職員の積極的な議論や参加にもとづく合意形成を重視し、自律性・合理性・機動性をそなえた適切な学内管理運営をおこなう。
- 7 本学は、定期的な自己点検・評価の努力をつうじて、教育・研究・社会貢献・管理運営等の活動の実情を正確に把握し分析するとともに、社会の課題やニーズに対応し適法性に配慮してたえず必要な改善をはかり、高等教育機関にふさわしい質保証とその質の向上に努める。

平成27年12月11日 教授会承認 / 学長決定

鹿児島県立短期大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【教育理念・目標】

鹿児島県立短期大学は、第一部（昼間）に3学科6専攻、第二部（夜間）に商経学科の1学科を設置した、男女共学の総合的公立短期大学です。

本学の教育目標は、「深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな教養と、職業又は実際生活において必要な課題探求・解決能力を有する人材を育成し、もって地域社会の発展に寄与する」ことです。この目標にそって、本学では以下のような人を求めています。

- ・ 基礎的な学力を身につけて、地域社会において意欲的に活躍する人
- ・ 世界の中で思考し、地域に根ざした活動のできる人
- ・ 少人数教育の場に意欲をもって参加する人
- ・ 創造的な行為を生む知的な冒険をする人

〈文 学 科〉

【教育理念・目標】

文学科は、文学、言語、文化を学ぶことを通して、豊かな文学的感性、柔軟な思考力、的確な表現力を有し、多様化した社会で活躍できる人材を育成することを教育理念としています。

〈日本語日本文学専攻〉

【教育理念・目標】

日本語日本文学専攻は、日本語及び日本文学の理論を学び、作品を読むことを通して、日本語に関する知識と表現力、日本文学を広くかつ深く解釈し鑑賞する能力を有し、多様化した地域社会で活躍できる人材の育成を目標にしています。

【受入方針】

日本語日本文学専攻は、上記教育理念と目標を踏まえ、次のような学生を求めます。また、その受け入れのために適切かつ多様な入学者選抜を実施します。

- ・ 日本語の歴史的変遷や方言など言語に興味・関心のある人
- ・ 日本の古典文学や近・現代文学に興味・関心のある人
- ・ 中国の文学や中国語に興味・関心のある人
- ・ 日本語教育を通じた国際交流に興味・関心があり、実際に活動をしたい人
- ・ 中学校教諭二種免許状（国語）を取得して、国語教育にかかわる進路を目指す人

〈英語英文学専攻〉

【教育理念・目標】

英語英文学専攻は、英米文学、英語学、英語圏文化を学ぶことを通して、英語運用能力と豊かな教養を有し、多様化した国際社会に対応できる人材の育成を目標にしています。

【受入方針】

英語英文学専攻は、上記教育理念と目標を踏まえ、次のような学生を求めます。また、その受け入れのために適切かつ多様な入学者選抜を実施します。

- ・ 英語運用能力の習得に強い熱意をもつ人
- ・ 英語文学、英語学、異文化理解に興味・関心のある人
- ・ 国際交流にかかわる活動に、英語力を生かして積極的に参加したい人
- ・ 本学の編入学協定制度、協定留学制度を通して、海外の大学に留学したい人

- ・ 中学校教諭二種免許状（英語）を取得したい人
- ・ 英語の各種検定の資格取得に熱意のある人

〈生活科学科〉

【教育理念・目標】

生活科学科は、衣・食・住を中心とする生活全般を対象とした実践的な専門知識と技能の習得を通して、柔軟な思考力及び判断力を有し、地域社会に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。

〈食物栄養専攻〉

【教育理念・目標】

食物栄養専攻は、食物及び食生活についての幅広い科学的知識と専門的知識の習得を通して、健康の維持増進のための実践的能力を有し、地域社会に貢献できる人材を育成することを目標にしています。

【受入方針】

食物栄養専攻は、上記教育理念と目標を踏まえ、次のような学生を求めます。また、その受け入れのために適切かつ多様な入学者選抜を実施します。

- ・ 食生活や健康と運動に幅広い関心を持つ人
- ・ 「食生活を科学する」ということに興味を持ち、自ら学習し追究する意欲のある人
- ・ 楽しい食事を創造するための調理や食品加工に興味・関心のある人
- ・ 将来、栄養士として人々の健康づくり、栄養改善に貢献しようという意欲のある人
- ・ 栄養教諭二種免許状を取得して、栄養教育にかかわる進路を目指す人

〈生活科学専攻〉

【教育理念・目標】

生活科学専攻は、衣及び住を中心とする生活全般に関わる専門知識の習得を通して、生活に関わる事象を科学的に分析・理解する能力及び質の高い生活環境をデザインする能力を有し、地域社会に貢献できる人材を育成することを目標にしています。

【受入方針】

生活科学専攻は、上記教育理念と目標を踏まえ、次のような学生を求めます。また、その受け入れのために適切かつ多様な入学者選抜を実施します。

- ・ 身の回りにあるものの成り立ちやデザインに興味があり、実践的に学びたい人
- ・ 自然・社会・文化環境など多様な視点で生活について学びたい人
- ・ 生活の課題を認識し、問題解決を目指して新たな生活スタイルを創造していきたい人
- ・ 中学校教諭二種免許状（家庭）や住居・デザイン関連の資格取得に関心のある人

〈商 経 学 科〉

【教育理念・目標】

商経学科は、広く世界、日本、地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し、情報処理の技法習得を通して、柔軟な思考力と企画力を有し、地域に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。

〈経済専攻〉

【教育理念・目標】

経済専攻は、経済・社会の理論を学び、地域社会や産業の分析を通して、地域の課題を発見する能力、課題解決の意欲と能力を有し、地域経済の発展に寄与できる人材を育成することを目標にしています。

【受入方針】

経済専攻は、上記教育理念と目標を踏まえ、次のような学生を求めます。また、その受け入れのために適切かつ多様な入学者選抜を実施します。

- ・ 地域社会で起こっている社会的な動向に興味や関心をもつ人
- ・ 日々世界的規模で変動する経済現象を理論的に裏付けながら理解しようとする人
- ・ 経済活動をはじめとするさまざまな社会参加の形態に関心をもつ人

〈経営情報専攻〉

【教育理念・目標】

経営情報専攻は、経営や組織の理論を学び、会計・情報処理の技能習得を通して、ビジネスを企画・管理する意欲と能力を有し、地域産業の発展に寄与できる人材を育成することを目標にしています。

【受入方針】

経営情報専攻は、上記教育理念と目標を踏まえ、次のような学生を求めます。また、その受け入れのために適切かつ多様な入学者選抜を実施します。

- ・ 企業の活動をその実際的な形から理解しようとする人
- ・ ビジネスにおけるIT活用の技能習得を目指す人
- ・ 会計に関する知識・技能を習得しようとする人

〈第二部商経学科〉

【教育理念・目標】

第二部商経学科は、広く世界、日本、地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し、情報処理の技法習得を通して、柔軟な思考力と企画力、そして豊かな人間関係の構築力を有し、地域活性化のために活躍できる人材を育成することを教育理念としています。

【受入方針】

第二部商経学科は、上記教育理念と目標を踏まえ、次のような学生を求めます。また、その受け入れのために適切かつ多様な入学者選抜を実施します。

- ・ 働きながら社会に触れ、体験したことを大学で理論的に再確認してみようとする人
- ・ 地域社会で起こっている社会的な動向に興味や関心をもつ人
- ・ 会計やITの知識・技能の習得を目指す人

鹿児島県立短期大学の教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

〈文学科〉

日本語日本文学専攻

日本語日本文学専攻のカリキュラムは、専門基礎科目、日本語学科目、日本文学「古典」科目、日本文学「近代」科目、地域文学・中国文学科目、卒業研究で構成されます。

1 専門基礎科目

大学の教育カリキュラムにスムーズに移行するためのリテラシー教育、専門分野を学ぶために必要な基礎的能力と知識の習得を行います。

2 日本語学科目

日本語学、言語学、日本語教育学、日本語表現について、基礎から専門へと体系的に学ぶ科目を配置し、日本語、及び、言語について、専門的知識や思考力を養うとともに、言語によって事実を正確に示して的確に意見を伝える表現力を養います。

3 日本文学「古典」科目

日本の古典文学について、文献講読を重視して基礎から専門へと体系的に学ぶ科目を配置し、日本文学の知識を得ると共に、作品を精読して「読む」能力を向上させ、文学的感性を養い、発表と討議を通して読解力、表現力を向上させます。

4 日本文学「近代」科目

近世、近代から現代の日本文学について、文献講読を重視して基礎から専門へと体系的に学ぶ科目を配置し、日本文学の知識を得ると共に、作品を精読して「読む」能力を向上させ、文学的感性を養い、発表と討議を通して読解力、表現力を向上させます。

5 地域文学・中国文学科目

鹿児島の地域文学を学ぶ科目、及び中国文学について基礎から専門へと体系的に学ぶ科目を配置し、地域文学・文化、中国の文学・文化・歴史を多角的な視野で学ぶことで、異文化理解を促す柔軟な思考力を養います。

6 卒業研究

各自が設定するテーマについて専門領域の教員の指導のもと、短期大学の学修の集大成として卒業研究を作成し、学生自らが課題を探求し、その解決に向けて必要な情報を収集・整理して論理的に結論を導き出すことを目標とし、総合的な課題探求・解決能力を培います。

英語英文学専攻

英語英文学専攻のカリキュラムは、専門基礎科目、コミュニケーション科目、英語学科目、英米文学科目、比較文化科目、卒業研究で構成されます。

1 専門基礎科目

大学で必要な学習技術として、言語学や文化研究に関する文献や文学作品を読むことを通して、英文の構造と論理を正確に理解して適切な和文に訳出する力を実践的に指導します。

2 コミュニケーション科目

コミュニケーションの理論と実践について体系的に習得することをねらいとした科目を配置し、専門的知識や思考力、判断力を養うとともに、「読む・書く・聞く・話す」の4技能のバランスがとれた実践的な英語コミュニケーション力を総合的に向上させます。

3 英語学科目

英語学の諸分野について基礎的な知識を体系的に習得させる科目を配置し、英語という言語を分析する力を養うことを通して英語に対する理解を深め、より正確な英語コミュニケーションができるようになるための素地を作ります。

4 英米文学科目

英米文学の背景と作品を学んで基礎的な知識を習得させる科目を配置し、作品の精読と速読を通して「読む」能力を向上させ、同時に作品に潜む問題点を考えさせて自らの意見を発信させる思考力を培います。

5 比較文化科目

英語圏の文化・文学・歴史を多角的な視野で学ぶ科目を配置し、異文化理解を促す柔軟な思考力を養います。比較文化的視点から社会を読み解く方法を習得させることで、多様な文化の中にいる自己を認識し、地域の問題をグローバルな視点で理解できる国際人としての素養を育みます。

6 演習科目

各自が関心を持つ専門領域の教員の指導のもと、自分の意見を論理的にまとめられる思考力と表現力を少人数で身につけます。そして、短期大学の学修の集大成として卒業研究に取り組み、情報収集や分析手法、問題提起、論理構築、課題探求力などの総合的なアカデミックスキルを培います。

<生活科学科>

食物栄養専攻

食物栄養専攻のカリキュラムは、栄養士としての基礎的知識を身につけ、実践力の修得を目指すために、学科共通科目、専門科目（基礎科目・応用科目）に関する科目群で構成されています。

1 学科共通科目

生活科学科では、社会生活を送る上で必要となる豊かな人間性と幅広い知識を身につけ、更に専門分野の修学に応用できるように科目を配置しています。

学科共通科目では、人間、生活、文化、社会との関連性を重視するとともに、健康で豊かな人生を創造でき、心身の健康を養い、情報化の進展に対応した教育を行います。

2 専攻専門科目

専攻専門科目は、栄養士の免許を取得するために必要な科目で構成されており、内容によって基礎科目と応用科目に分けています。

基礎科目では、社会生活と健康、人体の構造と機能、食品の化学的性質、栄養素の消化吸収・代謝など栄養学の基礎、調理学を学び、栄養士に不可欠な知識・理論を身につけます。

(2)

応用科目では、ライフステージや病態に沿った栄養学、栄養の指導、特定給食施設の管理・運営などの講義や実習を通して、栄養士業務に関わる知識と技術について学びます。

また、実習・実験では、学んだ知識を活かして、問題解決力と実践力を養います。

生活科学専攻

生活科学専攻では、生活全般を対象とした実践的な専門知識と技能の習得、さらに柔軟な思考力やデザイン力の獲得を目指して、カリキュラムを学科共通科目と5系列からなる専攻専門科目（専門基礎系、ライフデザイン系、ファッションデザイン系、ビジュアルデザイン系、建築デザイン系）で構成しています。

専攻専門科目は5系列とも講義や実習、演習を通じ、実践的な少人数教育により、主体的に取り組む力を伸ばします。また、専門基礎系以外の4系列ではゼミ形式で行う「卒業研究」を開設しています。志望する分野や課題を選択して研究を進め、2年間の専門教育を完成させます。

1 学科共通科目

生活科学科では、社会生活を送る上で必要となる豊かな人間性と幅広い知識を身につけ、更に専門分野の修学に応用できるように科目を配置しています。

学科共通科目では、人間、生活、文化、社会との関連性を重視するとともに、健康で豊かな人生を創造でき、心身の健康を養い、情報化の進展に対応した教育を行います。

2 専攻専門科目－専門基礎系

ライフデザイン系、ファッションデザイン系、ビジュアルデザイン系、建築デザイン系の科目の修得につながる基礎的な科目を配置しています。生活科学専攻の教育目標や体系を理解し、どの系列を主に修学したいかを意識しながら、系列やゼミ（卒業研究）選択の準備をします。

3 専攻専門科目－ライフデザイン系

生活や人間関係、それを取り巻く環境や文化、経済、福祉などについて総合的な理解につながる科目を配置しています。生活の中の様々な事象を科学的に理解、分析することやそのために必要な基礎的知識の習得を行います。

4 専攻専門科目－ファッションデザイン系

ファッションやアパレルに関する科目を配置しています。デザイン画や服飾の歴史だけでなく、服の構成も理解することで、デザインと造形、製作実習を有機的に関連付けながら習得できます。また、ファッションのもう一つの側面であるビジネスや産業の仕組みについても学びます。

5 専攻専門科目－ビジュアルデザイン系

ビジュアルデザインに関する科目を配置しています。デザインの基礎を学ぶ科目から複雑なソフトウェアなどを使用して課題作成に取り組む応用科目まであり、深い専門教育が受けられ、資格やキャリアにつながるスキルを身につけられます。さらに、様々な課題解決につながる感性やセンス、デザイン力を養います。

6 専攻専門科目－建築デザイン系

住居や商業施設などのインテリア、エクステリアといった空間デザインに関する科目を配置しています。住居などの歴史や設計・製図の技法、将来の望ましい住環境のあり方までを考え、学ぶことができます。また、二級建築士や木造建築士の受験に必要な知識と技術も基礎から応用まで習得します。

〈商経学科〉

1 専門基礎科目

商経学科では、経済専攻、経営情報専攻、第二部商経学科において共通とし、特に経済学と経営学を学ぶ上で必須となる基礎科目を学ぶことを目的としています。また、現代社会に必須の能力である情報系科目の基礎についても学びます。こうした基礎科目を学ぶことにより、様々な専門分野へ進んでいける力を養います。そのために、(1) 基礎理論、(2) 情報基礎の2つの系列を設けています。

2 専門科目

経済専攻

身近な生活を地域社会やグローバル社会と結びつけて考える力を養うことを目的としています。そのためには、社会科学のいくつかの分野の理論を中心に据え、国際社会についての理解を深めつつ、地域社会の課題解決に寄与するための方策を学べるように3つの系列に分かれています。それらは、(1) 経済理論、(2) 国際環境、(3) 地域政策です。これらの系列から横断的に履修することが可能になっています。

また演習科目では、少人数による実践的指導を行います。1年後期の演習Ⅰ、2年前期の演習Ⅱでは、自分が選択した教員の専門研究領域に応じたテーマの研究を通して、問題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力などを培います。2年後期の卒業研究では、履修の集大成として、各自が選択したテーマに基づいて、卒業論文を執筆します。

経営情報専攻

地域のビジネスを広く支える人材の育成を目指すことを目的としています。経営の知識とITや会計の技能を駆使して、企画、管理、運営を行う意欲と能力を持ち地域社会に貢献できるようにするために、経営や会計に関する理論を中心に据え、様々な情報を分析し、情報を活用する方策を学べるように3つの系列に分かれています。それらは、(1) 経営理論、(2) 情報分析、(3) 情報活用です。これらの系列から横断的に履修することが可能になっています。

また、演習科目では、少人数による実践的指導を行います。1年後期の演習Ⅰ、2年前期の演習Ⅱでは、自分が選択した教員の専門研究領域に応じたテーマの研究を通して、問題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力などを培います。2年後期の卒業研究では、履修の集大成として、各自が選択したテーマに基づいて、卒業論文を執筆します。

第二部商経学科

第二部商経学科では、多様な学生の要望に応えるために、経済専攻及び経営情報専攻よりも幅広いカリキュラムが用意されています。経済学、経営学、会計学に関する理論を中心に据え、地域社会と国際社会についての理解を深め、情報を分析し、そして活用できるように4つの系列が用意されてい

(4)

ます。それらは、(1) 経済理論、(2) 地域と国際、(3) 経営理論、(4) 情報分析・活用です。これらの系列から横断的に履修することが可能になっています。こうした幅広い科目を準備することで、社会人学生の幅広いニーズにも応えられるようにしています。

また、演習科目では、少人数による実践的指導を行います。2年後期の演習Ⅰ、3年前期の演習Ⅱでは、自分が選択した教員の専門研究領域に応じたテーマの研究を通して、問題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力などを培います。3年後期の卒業研究では、履修の集大成として、各自が選択したテーマに基づいて、卒業論文を執筆します。

〈教養科目〉

教養科目は、各学科の学芸の基礎となるよう、第二部を含めた3学科共通で構成し、以下のような目的・目標に向けてカリキュラムづくりを行っています。

- ① 人文、社会、自然の事象を明確に認識する。
- ② 地域における文化と世界の多様な文化との相互理解（グローバルとローカル性）を促進する。
- ③ ICTを含めた高いコミュニケーション・スキルを修得する。
- ④ 学際的な科目の学習を通して、現代の諸問題の課題探求、問題解決能力の向上に資する。
- ⑤ 外国語の運用能力を強化する。
- ⑥ スポーツに親しむことを通して、生涯にわたる健康維持と体力づくりに関心を持つ。

〈教職科目〉

文学科日本語日本文学専攻にあつては、中学校教諭（国語・二種）の、文学科英語英文学専攻にあつては、中学校教諭（英語・二種）の、生活科学科食物栄養専攻にあつては、栄養教諭（二種）の、生活科学科生活科学専攻にあつては、中学校教諭（家庭・二種）の、それぞれ普通教育職員免許状を授与するにふさわしい教職課程の編成を行っています。あわせて、学校図書館司書教諭規程にふさわしい科目を開設しています。

係る教職課程の編成に当たっては、教育職員免許法、同法施行規則、並びに「教職コアカリキュラム」等の法令諸規則を充当するよう、教職に関する科目並びに教科に関する科目を構成・配置しています。

鹿児島県立短期大学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

〈文学科〉

日本語日本文学専攻においては、『文学・言語・文化を幅広く学ぶことを通して、日本語に関する知識と表現力、日本文学を広くかつ深く解釈し鑑賞する能力を有し、豊かな文学的感性、柔軟な思考力、的確な表現力を兼ね備えた、多様化した地域社会に対応できる人材』、**英語英文学専攻**においては、『文学・言語・文化を幅広く学ぶことを通して、豊かな教養と高い専門性を身につけ、実践的な高い英語コミュニケーション能力を有し、柔軟な思考力と的確な表現力を兼ね備えた、多様化したグローバル社会に対応できる人材』の育成を図り、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し且つ単位を修得した学生を、『学生が卒業までに身につけるべき能力』を備えたものとして、文学科にあつては学位『短期大学士（文学）』を授与します。

学生が卒業までに身につけるべき能力

文学科【日本語日本文学専攻】

1. 日本、中国、郷土の文学・言語・文化、社会事情を幅広く理解し、グローバル時代における共存社会の諸問題に興味・関心を持ち、意見を述べることができる。
2. 日本語学、日本語教育学、日本文学、中国文学、地域文学について幅広く理解し、言語に対する知識と表現力を持ち、文学を広く深く解釈し鑑賞することができる。
3. 他国の文学・文化に興味・関心を持ち、文化の多様性を理解して日本を相対的に捉え、地域社会に貢献することができる。

文学科【英語英文学専攻】

1. 英語と英語圏の文学・歴史・文化、社会事情を幅広く理解し、グローバル時代における共存社会の諸問題に興味・関心を持ち、意見を述べることができる。
2. 「読む・書く・聞く・話す」の4技能のバランスのとれた英語力を実践的に運用し、異なる文化や思想を持った他者の考え方や視点に配慮してコミュニケーションすることができる。
3. 地域社会のグローバル化に興味・関心を持ち、その諸問題について主体的に考え、地域文化や経済、産業の振興に寄与することができる。

〈生活科学科〉

食物栄養専攻においては、『1 食生活や健康に幅広い関心があり、「食生活を科学する」ことに興味を持ち、自ら学習し追究する意欲のある人材』、『2 食生活をより良い方向へ支援するための専門的知識と技術を修得し、栄養士としての実践力を持つ人材』、**生活科学専攻**においては、『1 生活を科学的に理解し、質の高い生活を実現するために、目標を設定して具体化するデザインの視点を学ぶことができる人材』、『2 科学的方法やデザイン力でより良い生活環境を創造することができる人材』の育成を図り、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学しかつ単位を修得した学生を、次に掲げる『学生が卒業までに身につけるべき能力』を備えたものとして、生活科学科にあつては学

位『短期大学士（生活科学）』を授与する。

学生が卒業までに身につけるべき能力

食物栄養専攻

1. 栄養士として、食物及び食生活についての幅広い専門的知識を身につけ活用できる。
2. 専門的知識を活用して、人々の健康を維持増進するための支援ができる。
3. 協調性やコミュニケーション能力を身につけ地域社会に貢献できる。

生活科学専攻

1. 身の回りにある事象全般に興味を持ち、生活を豊かにするデザイン力を実践できる。
2. 地域の歴史や環境に根ざした住居や建築物をデザインできる。
3. 社会環境に調和し、身体に適した衣生活を実践できる。

〈商経学科〉

経済専攻においては、『経済・社会の理論を学び、地域社会及び産業の分析を通して、地域の課題を発見する能力、課題解決の意欲と能力を有し、地域経済の発展に寄与できる基礎を備えた人材』、**経営情報専攻**においては、『経営及び組織の理論を学び、会計・情報処理の技能修得を通して、ビジネスを企画・管理する意欲と能力を有し、地域産業の発展に寄与できる基礎を備えた人材』、**第二部商経学科**においては、『広く世界、日本、地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し、情報処理の技法習得を通して、柔軟な思考力と企画力、そして豊かな人間関係の構築力を有し、地域活性化のために活躍できる基礎を備えた人材』の育成を図り、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し且つ単位を修得した学生を、『学生が卒業までに身につけるべき能力』を備えたものとして、商経学科にあつては学位『短期大学士（商経学）』を授与します。

学生が卒業までに身につけるべき能力

経済専攻

1. 地域経済から国際経済・法学まで幅広く学び、身近な生活を地域社会やグローバル社会と結びつけて考えることができる。
2. 地域社会の動きを把握し、同時に産業の分析ができる。
3. 地域の課題を発見し、課題解決のための方策を考え出すことができ、最終的には地域社会に貢献できる。

経営情報専攻

1. 経営及び組織の理論、会計そして情報処理について学び、企業活動などを分析することができる。
2. 経営の知識とITや会計の技能を駆使して、企画・管理・運営をおこなうことができる。
3. 会社や組織の社会的価値を向上させると同時に、積極的にそれらの組織に貢献できる。

第二部商経学科

1. 経済学、法学、地域経済、国際経済、経営、会計、情報処理など幅広い分野について勉強し、地域

社会の状況を把握し、地域の問題を把握できる。

2. 多様な年齢層とバックグラウンドをもつ学生の学びの場を活かして、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけることができる。
3. 地域活性化、もしくはすでに働いている場で即戦力として貢献できる。